



10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」です！

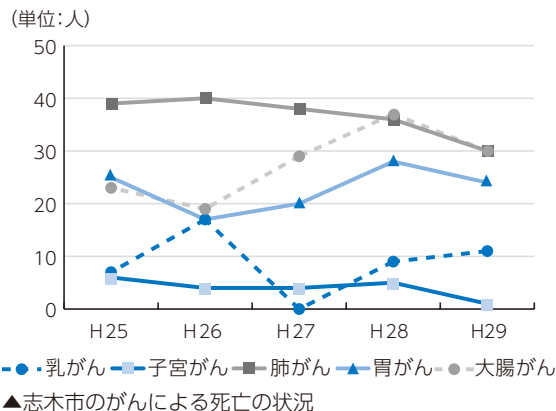
問合せ／健康政策課 内線2477

現在、我が国のがんによる死亡者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位を占めています。しかし、医療技術の進歩により一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となってきました。ぜひ、毎年継続してがん検診を受診しましょう！

がんによる死亡者の状況

市民の平成29年死因別死亡割合を分析したところ、死因の第1位は悪性新生物（がん）で、続いて心疾患、肺炎となっています。

また、がんの種類別死亡状況は、第1位：大腸がん、肺がん、第3位：胃がんとなっており、平成27年より乳がんは増加しています。



データでみるがん検診受診率

国はがん検診受診率の目標を50%と掲げていますが、志木市の平成29年度のがん検診受診率は全体的に低い状況にあります。右の表のとおり、1番高い受診率でも、乳がん検診の19.5%となっています。

がんを早期に発見するにはがん検診が大切になります。加えて、バランスのとれた食生活や適度な運動などの生活習慣を改善することで、がん予防につながるといわれています。ぜひ、年に1度はがん検診を受けましょう。

がん検診受診率目標50%

胃がん	11.0%
肺がん	7.0%
大腸がん	8.5%
子宮頸がん	14.8%
乳がん	19.5%

▲平成29年度志木市の受診率状況 (平成29年度地域保健・健康増進事業報告より)

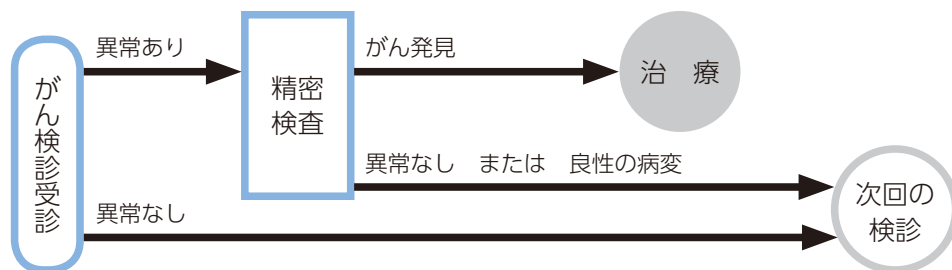
検診結果は自分の身体からのメッセージ

市で実施するがん検診は、症状のない初期のがんを発見するために有効な検診です。そのため、別の疾病で似た症状がある場合でも「要精密検査」と判定されることがあります。「要精密検査」と判断された場合、すべてが病気ということではありませんが、志木市では精密検査の受診率が非常に低い状況となっています。

検診結果が「要精密検査」となったときは、自覚症状がなくても必ず医療機関を受診してください。

なお、市ではがん検診のフォローアップとして、精密検査の受診状況や結果について確認をしています。

がん検診の流れ



詳しくは、健康インフォメーション（成人保健版）または、市ホームページをご覧ください。



防災行政無線を使った情報伝達訓練を実施します

問合せ／防災危機管理課 内線2326

全国瞬時警報システム（J-ALERT）による緊急地震速報訓練が実施されます。それに伴い、市内各所に設置してある防災行政無線から訓練放送が流れますので、お間違えのないようご注意ください。

緊急地震速報訓練 11月5日(火) 10時頃